

今、日本のすべての人に、きっと、役割がある。

3.11ユースダイアログ

～東日本大震災のことを知ろう、語ろう～

10年を迎えた東日本大震災。今だから、話せること。

震災当時、幼稚園生・小学生・中学生だった3人は、どんな体験をされたのか。

震災からこれまでどのようなことを感じながら

日々を暮らしてきたのか。

私たちは登壇者の話から何を感じ、学び、そのことを

どう活かしていけばいいのか。

ワカモノの話に耳を傾け、なにかを感じてほしい。

●開催概要

- ・開催日時 2022年1月29日(土) 13:00-15:30
- ・参加方法 オンライン開催 (Zoom)
- ・対象 東日本大震災を経験した若者の声に関心のある方
- ・参加費 無料
- ・申込方法 以下URLよりお申込ください

URL : https://jpn-civil.net/2014/blog/2021/12/311_2021.html

※締切日：2022年1月26日(水)



こちらからもお申込
いただけます

●プログラム

1. 開会
2. 登壇者のお話① (3.11その時のお話)
3. 登壇者のお話② (その後についてのお話)
4. 語らいの場
5. 閉会

※登壇者のプロフィールは裏面にあります

主催：東日本大震災支援全国ネットワーク (JCN)

共催：日本生活協同組合連合会 社会福祉法人全国社会福祉協議会

助成：復興庁コーディネート事業



3.11ユースダイアログ 登壇者プロフィール

浅田 太一（あさだ たいち）さん

現在は20歳、震災当時は小学3年生8歳でした。震災で母を失い、その影響で学校にあまり通えず不登校になってしまいました。現在は宮城県内の大学1年生、自分のこれまでの経験を生かし社会福祉士を目指しています。

阿部 愛（あべ あい）さん

宮城県石巻市渡波地区出身、在住。発災時は幼稚園年長（6歳）。幼稚園の親しい友人を亡くし、「友人の分まで生きてほしい」という友人の祖母からの言葉で、自分を鼓舞して生活してきました。クラーク記念国際高等学校で幼児教育やパフォーマンスを学ぶ高校2年生です。

星 愛（ほし あい）さん

震災当時、南相馬市在住の中学3年生。震災直後はライフラインがストップし市内の避難所に行きましたが、環境が悪く、相馬市の従兄弟宅で約3ヶ月間の避難生活を送りました。現在は福島県の小学校教諭として働いています。

■Zoomでの参加方法

<準備編>

- パソコン、タブレット、スマートフォンからご参加いただくことができます。
- 参加するにあたり、Zoomアプリを参加する機器にインストールしてください
 - ・Zoomのホームページよりアプリをダウンロードすることができます。
 - ・https://zoom.us/download#client_4meeting
 - ・ユースダイアログ前日までにインストールください

<参加編>

- お申込み後、ユースダイアログ前日までにユースダイアログに参加できるZoomのURLをお送りします。
- 当日は12時50分までに、お送りしたZoomのURLをクリックしてください（アクセスください）。不安がある場合は、早めに（12時40分ごろ）にURLにアクセスして、つながるかご確認ください。
- 次のサイトで接続のテストなどが行えます。（<https://zoom.us/test>）

■お問い合わせ・ご不明な場合

こちらのメールアドレスまでご連絡ください

- ・office@jcn-civil.net（JCN事務局）